

三笠ニュース

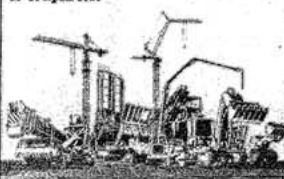
発行所

東京都千代田区猿樂町1-4-3
三笠産業株式会社
電話 東京(292)1411 大代表
テレックス 222~4607
郵便番号 101
PR旬報 年4回発行



Technology
»live«

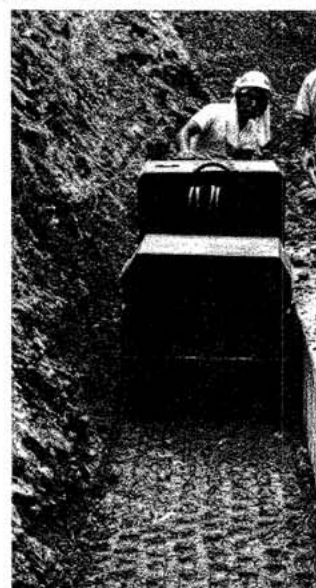
bauma 89
22nd International
Trade Fair
The World Forum for Construction Equipment
and Building Material Machines
10-16 April 1989



抜群の輾圧力 強い駆動力が大好評

MRV-30G インパクトローラー

BAUMA 89 の三笠製品展
会場風景。今年はさらに強
化...。左は'89ポスター。



山形県・東ノ沢で
大活躍中のMRV-30G

今回MRV-30G型インパクトローラーを納入したのは、山形県西村郡西川町の「東ノ沢荒廃砂防工事」で、本道建設機構(西川町本道寺)さんの現場である。

掘削土を埋め戻して輾圧する工事は、全国津々浦々で行なわれているが、山砂や碎石を入れ変えて輾圧するのと違って、掘削土の多くは粘土質系に栗石が交ったり、又天候によって雨水を含んだり乾燥したりで、含水比がかなり変化する。こうした土質を締め固めるには、小型の振動ローラーではスリップし易いし、大型の振動ローラーは現場に入らない。もちろんブレーキコンパクターでは輾圧効果が期待出来ない。こうした土質にはランマーが一番適しているが今日の現場は面積が広いし構造物も高いので何十層も輾圧しなければならず非常に能率が悪い。そこで振動ローラーよりも締まるし、ランマーよりもはるかに能率が良いということでインパクトローラーをご採用頂いた。

現場は砂防ダムを上流に構築したその下部に道路を新設する工事で、橋台はコンクリートも打設し終って白い色を見せている。その橋台の取り付け部分を下部から掘削土を入れて輾圧をするものである。ダンブカーから土砂が勢いよく落ちて、それをバックホーや一輪車で30センチメートルの厚さに敷き並べて行く。橋台と取り付け道路の最下層部の幅が約90センチメートルと狭いが、インパクトローラーにはピッタリである。

そしてインパクトローラーの出番である。イボイボ(パッド)の付いたローラーが確実に土を踏んで行く、そして振動レバーを入れると同時にドラムが強力な振動を伝え土砂が7から10センチメートル位沈んだ、ローラーの通った後にはパッドの形がまるでタイヤを貼った様にきれいに並んで行く。又ステアリングも油圧レバーで左右に動くのでこうした狭い現場では非常に楽だ。

こうして輾圧を数回繰返すともうツルハシが刺せない程に締め固まっている。十分位作業をしていると現場のオペレーターも操作に慣れ、我々よりもうまく運転作業をしているので現場を後にした。

又今回販売に御協力頂いた第一建設(寒河江市)の近藤社長は、今後こうした輾圧工事は必ず必要になってくるし、施工会社の方も輾圧不足による沈下で再工事となり手間がかかるよりもこうしたインパクトローラーで確実に締め固めをした方が結果的に安くつくし、もっと売れる筈と尻をたたかれた。

松沢記

春日部工場が増築完成 披露宴盛大に挙げる

三笠産業春日部工場の増築工事が目下たく完成の運びとなつて、さる十二月九日正午より落成式および披露宴が同工場内で

盛大におこなわれた。修祓は八幡神社宮司によって厳粛に執りおこなわれ、本社から京谷社長以下12名、館林工場から斎藤工場長ほか3名、春日部工場は長谷川会長、小森工場長ほか4名、桜電機から森工場長ほか2名、そして工事関係者の渡辺建築事務所および勝栄建設の代表が参列し、全員うやうやしく玉串奉奠を行なった。

新しい高度技術は活かし育てながらも原点第一が大切でありましょう。

こうして生産体制をさらに見直し、三笠グループの明るい発展と団結力を誇示させていたべく所存です。旧年末には春日部工場の増築も完成しました。何とぞ本年も一層のお引立ての程お願い申し上げます。



なおこの式典のあと同じ神前で渡辺建築事務所と勝栄建設に京谷社長から感謝状が贈呈された。今回はじめて工事を請負った春日部市内の勝栄建設さんの謝辞がのべられて、とどこおりなく式典は終了。

引き続き午後1時から祝いの披露宴となり、広々とした新工場に張りめぐらした幔幕の中は一変して祝福と歓談の場になった。さる夏7月28日の地鎮祭からは、5か月間、びったり予定通りで極めて順調に完成したこの増築工事で、春日部工場はたことかない...。来賓祝辞の中で三枝市長は強調。続いて佐久間埼玉県議会議長の祝辞のあと埼玉銀行・富吉春日部支店長の首頭で杯を高くかかげ、乾杯してパーティーに移り御馳走と歓談の花が場内いっばいに咲いた。

宴は盛りあがって歓談つきず中じめの万才が繰りかえされて、午後3時、小森工場長の閉宴の挨拶によって宴を終えた。

大正建機株式会社

東京都大田区多摩川2-15-4



西野社長

拡大一途の首都圏、それにもなう工事の大型化、それらのニーズに対応すべく、リース業界も大きく変った。
中でも、地の利の良い大田区には多くのリース業者が集中している。その中に於いて大正建機(株)さんは、その地の利・先見性をもつて昭和三十八年会社創立以来、常にユーザーのニーズにこたえつつ、拡大・成長を続けており、取扱う機械も、小型建機から重機迄機種と台数をそろえ、市場へ対処しているのが大正建機(株)(西野泰弘社長)さんです。

お客様を訪問



Service Swiftness (迅速)

(大阪府交野市)に加え、静岡県掛川市に掛川営業所を、昭和六十三年七月にオープンされ、関係会社の大建ディーゼル(株)さんと広範な展開と躍進をされています。
三笠製品も高周波パイプリーターはもちろんの事、ランマー、プレート、カッターと多数御活用いただいている。
今日現在三笠の第一線で活躍している、営業マンの中にも、駆け出しの頃お世話になった者も多く、大正建機さんの話題が多く聞かれる。我々は「大正建機さんから取引以上の多くの事を教えられつつ、さらに協力できる範囲を熱意をもって広げたい。」これからの末長いお付き合い、大正建機さんの社業の発展、そして社長さま以下社員皆様のご健勝を心から祈念申し上げます。
(山根記)

コーエイ株式会社

群馬県前橋市
上小出町七五ノ八



高屋社長

この県都前橋に本社を置き、県内はもとより、お隣新潟県にも営業所を設置して建設関連機械の販売、リース、メンテナンスに幅広く活躍されているのがコーエイ株式会社(社長・高屋浩志氏)さんである。
コーエイ(株)さんは昭和四十四年高屋社長が創業され、以来高屋商機(株)、高屋リース(株)の社名で業界のパイオニアとして活躍されていましたが、昨年九月より新たな前進を目指して「よりよい環境、より暮らしやすい生活」をスローガンとし、群馬県内に本社、前橋センター(サービスセンター)勢多郡富士見の他、高崎営業所、太田営業所、沼田営業所、吾妻営業所、富岡営業所、そして新潟県内には六日町営業所、上越営業所、小千谷営業所を設置され、販売に力を入れています。
また、昨年から群馬県内の各営業所にて、第七回地区建設



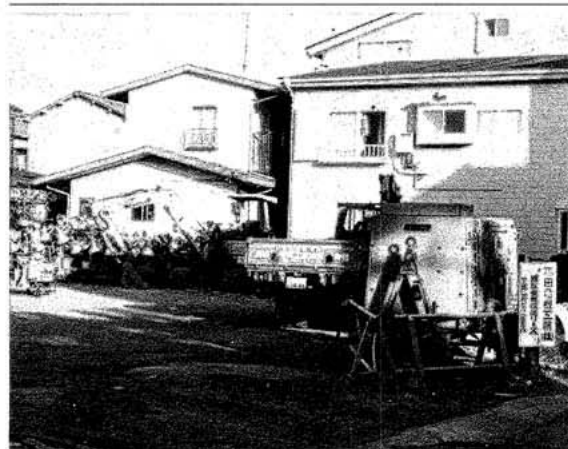
機械展示会が新たなニーズにこたえるべく、各種最新鋭の機械を取揃えて盛大に開催され、三笠製品も各会場多数のご成約を頂きました。
群馬県は関越自動車道、上越新幹線の開通で首都圏への新たな通勤圏としても脚光を浴びています。
二十一世紀に向け、ニーズが多様化する中、人と人のふれあいを大切にして、今何が必

高田電機工業株式会社

東京都江戸川区
篠崎町四ノ四三



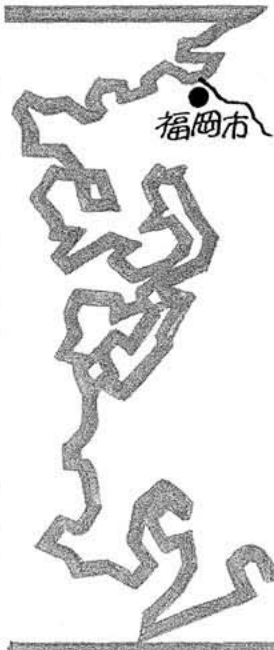
高田社長



今、世の中はフォロワーの風が吹いていると、どこも景気の良さが飛び交っている。今回御紹介申し上げる、高田電機工業(株)さんは、そのフォロワーの風を巻き上げているウオーターフロント計画の中心、東京湾に面した江戸川区にある。お隣千葉の県浦安市を含み、その開発地域は広い。
この有望な地域を指し、首都圏の有力なリース、レンタル業者が続々とその拠点を求めて営業所を開設しようとしている。そうした環境にあつて取締役社長である高田実氏は、泰然自若としている。その理由として二つの事が上げられる。
一つには社長自身、昭和四十一年一月に高田電機工業(株)を設立する以前、すでにこの業界に身を投じ、リース・レンタルを世間に認知させるべく、多くの営業戦略を展開し、数多くの苦難を乗り越えた事。二つにはその中で社長自身が、つかんだ何かを具現すべく独立し、会社を創立させ、どの様な社会情勢でも安定した企業にするべく、情熱を傾け、今日の高田電機工業(株)を築き上げた実績からだろうと思われる。
実際、高田さんを訪問すると思ふ事は、会社自体派手さはないが、堅実という言葉が思い浮かべられ、置かれていた機械を見ると、一つ一つ良く整備されておられ、機械から暖かみを感じられる。社員の方々も一人一人の周りのリース業者にもレンタル会への勧誘をして頂いたり、高田社長のこの業界をもっともっと良くしたいという高い情熱の一端垣間見ることが出来る。
高田電機工業(株)さんは、社長の指示の下、益々の発展を続けられると思うが、同時に業界の先駆者としての立場から我々を指導して頂き、広く業界の為に活躍されん事を祈って止みません。
要とされ、何が重要なかに真剣に取り組まれ、いち早く確実にお客様のニーズに合致した商品をお届けされるコーエイ(株)さんの今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。
河合記

●三笠ものがたり<5>

福岡県三笠川



もう夜になっていて、春日市内で再び三笠川と逢った。昨日の昼間みた三笠川は博多湾にそそぐ河口の市街に挟まれた運河のような姿だったが、こゝまで来ると川の野性がはつきりと感じられた。水草を押し分けるように蛇行した水面が夜空の光を受け、キラキラと白くうねっている。瀬音こそ聞こえないが小波を立てて流れていた。川風も冷たく吹きあげて来て、思わず首をすくめた。

そのとき空から灯を点滅させて舞い下りて来る大きな黒い鳥が目に入った。左に急旋回して三笠川の真上で位置を定め、まるでこの川が滑走路であるかのように直進し、高度を下げながら飛翔して行った。福岡空港に下りるジャンボ旅客機――。

そうだったのか。東京をとり立てて本州を縦断、玄海をかすめて金印発掘の志賀島上空で左旋回、さらに左旋回するのが太宰府市の附近、そして今この三笠川をたどって行けば空の旅は終って福岡へ着陸となる。私も



そのコースを飛んで来たのだが、全く気が付かなかった。そうなのか。三笠川は福岡空港の空の滑走路だったのだ。

三笠川は御笠川とも記されている。源流は太宰府市の宝満山にあり、その名の由来は文献をたずねても状況推測で判断するのがよさそう。ここ春日市は1200年の昔、太宰府の藤原田麿が奈良の春日神社を分霊祭祀して、その一帯が春日原と呼ばれていた。昭和47年に市制を施行して春日町から春日市になっている。JR博多駅からほんの10分、南福岡駅下車。西鉄大

牟田線の春日原駅ならそのものズバリ春日神社の地元というわけ。春日といえば三笠。それはもう万葉の時代から類語であり切っても切れない関係詞となっている。春日原には三笠川が流れていくやうな感じがする。これが今日一日、大宰府市周辺を走り回って得た状況推測。

こうして三笠川を訪ねてみると驚いたのはこの川辺一帯がまさに古代の大通りであったこと。考古学者はここを弥生銀座と呼ぶそうだし、歴史学者にとっては史蹟の宝庫なのだそうである。それらをとり混ぜて上流から下流へと並べてみよう。

まずは観世音寺、都府楼跡、国分寺、水城、韓心池古墳、金隈、板付遺跡、剣塚、比恵環溝、住居跡、東長寺、聖福寺……。聖福寺あたりの三笠川は豊臣秀吉の「町割り」つまり都市計画にしたがって治水工事が施され、さらに大友家の家臣白杵安房守が水路を新設して流れを変えて「松原の堀切」と呼ばれた。これが江戸時代にはさらに拡張されて石室川と名付けられ今日に及んでいる。

地図をみると那珂川と並んで湾にそそぐ石室川に、必らずカッとして御笠川もしくは三笠川と記してあるのが面白い。

博多古図(鎌倉時代)によると三笠川は現在の中州あたりで那珂川に合流し、海にそそいでいる。川の合流地点いわずに落合はどうしたって氾濫地となり

溝になる。大園秀吉や白杵安房守でなくともこの流れを変えて治水工事を思いつくのは当然だった。要は昔も今も財力と権力ということになるのか。その財力と権力の部分だけを石室川と呼ばれている三笠川は、長く遠い歴史を流れて心広いのだろうか何とも言えず語らざるである。

春日市からも少し三笠川をさかのぼって行くと水城(みづき)跡につき当たる。天智天皇の御代、新羅の来襲にそなえて築いた太宰府防衛ライン。幅30m高さ14m程の土堤で延長1200mあるという。全身に緑樹を茂らせ、大蛇のように横たわって太宰府市の山部と大野城市の山部を結ぶ。その中央を流れるのが三笠川だ。水城の構想について国の特別史跡として案内の説明文には「有事の際にはここに湛えた水を切って落とす計画であった」と防衛庁長官みないな句調だ。それはどうでもよいが、この水城に三笠川の水が湖をなす光景を想像すると古代の夢が現実になる。琵琶湖ほど大きくはないだろうが諏訪湖くらいには見えるかも知れない。1200mの堤防で水面と平原がくっきり、区切られている光景。万里長城には及ばずとも古代日本で最大の工事だったことは確かである。

白村江で新羅と唐の連合軍に大敗して帰国した大和朝廷の、文字通り背水の陣だったのか。それから1300余年後のいま、水城のすぐ隣まで家並みが行き、国道3号線とそのバイパス、JR・西鉄のほか九州自動車道が水城を横切って走っている。かつて三笠川だけが横切っていた水城跡を――。

九州を離れる日、福岡天神の書店で立読みしていたら、大宰府史に「三笠軍団」という文字もあった。藤原広嗣の乱で活躍した軍団らしいが詳しく読む時間はない。読む時間はない。

右の図①のように真中に人物ひとりの場合はよいのですが、では図②のような時はどうでしょう。ピント合わせをするセンターの部分が人物からはずれた位置にありますね。

このような時は、ピントは遠

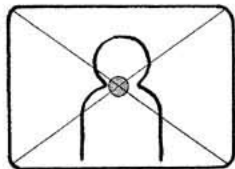


図 1

ピントは遠
ファインダー内の対角線の交点(●)の部分で計るよう設計されています。

それはファインダーの真中でピント合わせをする事です。ピントはファインダー内の対角線の交点(●)の部分で計るよう設計されています。

講座 写真ABC 穴原博

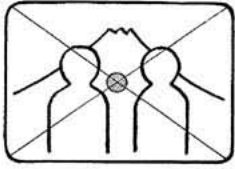


図 2

背景にある山に合っていない肝心の2人の人物はボケてしまっています。この場合は、どのカメラにもフォーカスロックが備えられていますので(メーカによって多少は違いますが)ピントを合わせた部分に

ピントを合わせた部分に、シャッターを「半押し」し、そのまま指を離さないで構図を直してから残りのシャッターを押せばよいのです。即ち図②の場合は左右いずれかの人物を●に入れて半押しし、元にもどしてから残りのシャッターを切るのです。操作順序を図③④⑤を参照して覚えてください。

二、ストロボを使う
カメラ内蔵のストロボは室内や夜間だけでなく昼間の木かげや逆光(太陽に向って写す)の時など大いに利用して下さい。それは順光(太陽を背にして写す)の時よりもずっと素直に写るはず。特に女性ポートレートに向いています。

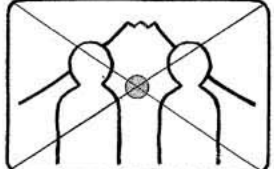


図 3

構図を決める

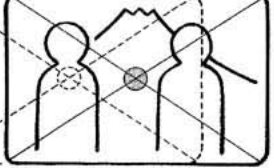


図 4

カメラを半押し

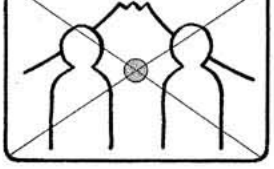


図 5

カメラを元にもどし

この様に1000を標準にして上下あります。前回の本欄で記載しました体育館や舞台写真などは、超高感度フィルムを用います。その理由はコンパクトカメラのストロボ光量では光が遠くまで届かず、手前の人の頭の後ろが白くなる位で、肝心の舞台は暗くなってしまいます。四、フィルムは24枚だけではない――さて、このタイトルだと皆さんそんなこと知っているぞと思

25	50	64	100	200	400	1000	1600	3200
低感度	標準	高感度	超高感度					

三、フィルムの種類
普通フィルム「100」という言葉を耳にした事があると思いますが、この「100」とはフィルムの感光度のことです。この数字100の前にアルファベットで、ASA(アメリカ標準規格) JIS(日本工業) ISO(国際) DIN(ドイツ) 等がつけますが、最近ISOが多く見られます。フィルムの箱を見て下さい。現行の感光度は一般的に次の様になっています。

五、モノクロも再認識
写真の楽しみは暗室作業にあります。スキーに例えれば「すべる」ことです。DPE店に処理を依頼するのは「下り」のフリトに乗るに等しいのです。日本を代表する写真家・木村伊兵衛氏は「50ミリの始まり50ミリの終り」ライカは空気が写る「写真は人が写すもの」等々とおっしゃいました。この言葉の意味については次号で解説することとしましょう。私は授業テキストとして名取洋之助著「写真の読みかた」(岩波新書)を使わせて頂いています。ぜひ一読をお奨めします。

うでしよう。しかしここで言いたいのは、12、24、36、の数字のことではありません。真意は長いフィルムを沢山使った下さという事です。

その訳は1枚や2枚で良い表情や構図はなかなか写せないからです。何事も月謝が必要で、レンズを見てニッコリ、パツチリではその写真の醍醐味は決りません。スナッフショットはカメラを意識しない表情にその良さがあります。試しに36枚より1本を奥様なり子供さんなりひとり5分以内で写してみして下さい。記念写真のようにハヤこつち向いてニッコリ式の写真とは全く違ったその表情が写し込まれている事に気づくはず

出産日を目前にしている方がおられたらグッドチャンス。今日から一日一枚で良いですから写して下さい。赤ちゃんの生まれる前のお母さんの表情や変化こそ長篇大記録のスタートなのです。生まれてからは遅いのです。一年で365枚、約10本現像・プリント代まで含めて一年で約2万5千円。たったこれっぽちで素晴らしい宝物が自分のものになります。ぜひとも実行してみして下さい。

写真の楽しみは暗室作業にあります。スキーに例えれば「すべる」ことです。DPE店に処理を依頼するのは「下り」のフリトに乗るに等しいのです。日本を代表する写真家・木村伊兵衛氏は「50ミリの始まり50ミリの終り」ライカは空気が写る「写真は人が写すもの」等々とおっしゃいました。この言葉の意味については次号で解説することとしましょう。私は授業テキストとして名取洋之助著「写真の読みかた」(岩波新書)を使わせて頂いています。ぜひ一読をお奨めします。

(日本写真芸術専門学校講師)

フジヤ機工株盛大に

25周年記念の感謝祭

わが社の長野県下、有力代理店でありますフジヤ機工株(長野県上伊那郡南箕輪村神子柴七四〇八)社長花岡明様におかれましては、稲穂も黄金色に染まり、年記念の大展示即売会を盛大に開催しました。



用意された太鼓が御成約ごとに威勢よく鳴りひびいた……

8月から9月へと異常気象の長雨でしたが、フジヤ機工株さんの25周年は天も祝ったのでしよう。展示会当日にはピタリと上がって、それはそれは素晴らしい日和になりました。

会場内には飲み放題、食い放題のコーナーが設けられ、さらに奥様コーナー、中古機コーナーなど催し物も沢山。また、感謝の意をこめて4トトラックの水槽にいっぱいのお鯛を持ち込みその場で網ですくって生きたまま

持ち帰り帰っていただくなど、フジヤ機工株さんのお客様に對する熱い感謝の心が随所に見られました。

展示会は両日とも早朝から諏訪・松本方面より多勢のお客様が来場され、ヤキトリ、お酒、五平餅などがふるまわれ、出品メーカー各社のコーナーともフジヤ機工株さんの25周年を心から祝福して、ユーザーさんがこぞって御成約していただき、笛や太鼓の鳴りもの入りで威勢よく

三笠コーナーでも新製品のFW556、高周波防音ディーゼル発電機をはじめ、ランマー、コンパクター、カッターなど、大量の御成約をいただき、まことに大盛況の展示会でありました。今後とも、フジヤ機工株さんの益々のご活躍ご発展と、皆々様のご健勝をお祈り申し上げます。

(倉田)

振動ローラー等の輦圧力を遠心力で表して見ますが、数としてみた場合の簡単な見分け方はないのでしょうか。

新潟の永田さんのご質問にお答えします。

振動ローラーやランマーなど、振動の力を利用して締固めをする機械では締固め性能をトン数で見分ける、あるいは分類するのは簡単ではありません。

私もどもで製造しているバイプレーター、ローラー、ランマー、プレート等は締固め機械のなかでも特に振動締固め機と呼ばれていますが、バイプレーターが対象とするのはコンクリートで、ローラー等は土、アスファルト合材の輦圧が主目的となります。

土やアスファルトなどを輦圧する場合、その機械の能力を考えると、その重さが能力の目安になります。5トンとか10トンと

土の締固めに於いて何を基準に判断するかと言え、基本的には密度になります。その土の持っている性質の中で最大の密度が出るように締固めを行います。JISにその方法が規定されています。これを100%として工事現場の道路等の締固め度を判断します。建設省で規定している尺度に従って工事を行ない、90%で良い場合もあるでしょうし、95%以上にしなければならぬ工事もあります。



小休止といった状態、展示会等の催事には絶好の時期である。芋煮会そのものは初秋から晩秋にかけて、里芋の旬の季節に東北地方の各地に於いて行なわれており、河原に大鍋を用意し、その中に里芋の他、肉や野菜を入れ、味噌又は醤油で味付けをして煮込み、それをみんなで清流の音を聞き、紅葉を見ながら味わうという野趣豊かなレクリエーションのひとつである。

今年の「いも展」は天候にも恵まれ、新製品はもとより、お客様からお預りした中古機械等も展示し、飲み程に食べる程に盛り上り、売約済の机があつという間に貼られた。来場者を驚かせたのはなによりも三笠の倉庫の在庫の少なさであり、現在いかに絶好調に推移しているかを仙台市内からばかりでなく、

遠くは山形からお客様が訪れ、山形と仙台の味付けの違い等も話題になり楽しい一日であったと同時に、前回は上回る活況であった。

小笠原記



建設機械化研究所で性能検査をしてあります。砂質土、まき厚30センチメートルで95から100%近い性能を出しております。このような機械に於いても何トンローラーに匹敵などと言うことは出来ません。施工方法によっては4トンローラーに相当する場合も有り、それ以上の場合もあり、ですから振動機の能力を表示する場合、はつきり表示出来る重さや振動力をカタログに記載しています。